

## 第1回千葉市PFI事業等審査委員会 議事要旨

|         |   |
|---------|---|
| 1 日 時   | 令和5年2月7日（火） 10時00分 ～ 12時00分   |
| 2 場 所   | 千葉中央コミュニティセンター8階「83・84会議室」  |
| 3 出席者   | <p>（委員）</p> <p style="padding-left: 2em;">山口委員長、野本委員、幸村委員（WEB参加）、設楽委員（WEB参加）、<br/>広田委員、朝倉委員（WEB参加）</p> <p>（事務局）</p> <p style="padding-left: 2em;">総合政策部長、政策調整課長、生涯学習部長、文化財課新博物館整備室長</p>   |
| 4 議 題   | <p>(1) 諮問事項について</p> <p>(2) 特別史跡加曽利貝塚新博物館（仮称）整備・運営事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 事業概要</p> <p style="padding-left: 2em;">(イ) 実施方針（案）について</p> <p style="padding-left: 2em;">(ウ) 要求水準書（案）について</p> <p style="padding-left: 2em;">(エ) 今後の予定について</p>   |
| 5 議事の概要 | <p>(1) 諮問事項について</p> <p style="padding-left: 2em;">「特別史跡加曽利貝塚新博物館整備・運営事業」について、千葉市長から<br/>諮問があった旨の報告があった。</p> <p>(2) 特別史跡加曽利貝塚新博物館（仮称）整備・運営事業について</p> <p style="padding-left: 2em;">(ア) 事業概要</p> <p style="padding-left: 4em;">当事業について、概要の説明があった。</p> <p style="padding-left: 2em;">(イ) 実施方針（案）について</p> <p style="padding-left: 4em;">当事業に係る実施方針を承認した。</p> <p style="padding-left: 2em;">(ウ) 要求水準書（案）について</p> <p style="padding-left: 4em;">当事業に係る要求水準書（案）を承認した。</p> <p style="padding-left: 2em;">(エ) 今後の予定について</p> <p style="padding-left: 4em;">今後の予定について説明があった。</p> |

### 6 会議経過（公開事項のみ掲載）

#### (1) 諮問事項について

（説明）

|        |   |
|--------|---|
| 政策調整課長 | <p>千葉市PFI事業等審査委員会設置条例第2条の規定に基づき、特別史跡加曽利貝塚新博物館整備運営事業について、市長から諮問がございました。</p> <p>諮問事項は、諮問書の1から5までとなっております。</p> <p>本日の議題の一部には千葉市情報公開条例第7条第5号に該当する情報を含んでいるため、一部非公開の会議となっております。</p> <p>また、今後の会議については、原則、非公開となります。</p> |
|--------|---|

（質疑応答）

|  |      |
|--|------|
|  | 特に無し |
|--|------|

## (2)特別史跡加曾利貝塚新博物館(仮称)整備・運営事業

### (ア)事業概要

#### (説明)

|          |  |
|----------|--|
| 生涯学習部長   | <p>加曾利貝塚は、日本を代表する縄文遺跡でございます。</p> <p>その中に位置する現在の加曾利貝塚博物館は、史跡指定を受ける前の昭和41年に建設され、以降、半世紀以上にわたり、市民の皆様に親しまれ、また、市内の多くの学校から、校外学習の児童生徒を受け入れるなど、幅広い世代を対象とした教育普及活動の場として、重要な役割を担って参りました。</p> <p>そんな中、老朽化も進んだことから、対策の必要性が高まっておりましたが、平成29年度の特別史跡の指定を契機とし、平成31年には、加曾利貝塚の将来像について描いたグランドデザインを、そして昨年2月には、新博物館基本計画を策定し、縄文文化とSDGsを学ぶことができる博物館として整備することといたしました。以上が経緯でございます。</p>   |
| 新博物館整備室長 | <p>続いて、事業内容の説明をいたします。</p> <p>加曾利貝塚は、千葉都市モノレールの小倉台駅から徒歩5分程度の場所に位置しております。今回、新博物館を整備する場所は、加曾利貝塚から見て、坂月川の対岸となる場所でございます。東側が標高25m、西側が19mと、6mほどの高低差がございます。</p> <p>次に、施設概要について説明いたします。</p> <p>新博物館は文化財保護法53条ただし書きに規定する公開承認施設として、整備・運営する方針といたします。</p> <p>続いて、新博物館の諸室について説明します。</p> <p>収集保存と調査研究に関しては、千葉市の学芸職員が担当いたします。</p> <p>展示から教育普及、ガイダンス、管理等につきましては、事業者に包括的に委託するものとし、これらが今回のDBO事業の範囲といたします。</p> <p>その他、飲食スペース及びミュージアムショップは、事業者の独立採算による運営としますが、整備においては、展示室内の防虫防火の観点等を理由として、新博物館とは構造上分離したうえでの隣接配置とすることを想定しております。</p> <p>次のページをご覧ください。</p> <p>敷地面積は約19,000㎡であり、新博物館の延べ床面積は約5,000㎡を想定しております。また、新博物館とは別に、50㎡程度の土器づくり工房を敷地内に配置することを想定いたします。</p> <p>続いて事業方式について、令和3年度に実施しましたPFI導入可能性調査の結果や民間事業者のノウハウの活用の観点から、総合的に検討した結果、本事業はDBO方式を採用したいと考えております。</p> <p>整備スケジュールとしては、令和6年度、設計業務を始め、令和8年12月には躯体の完成を見込んでおります。</p> <p>その後、文化庁のガイドラインに基づき、2夏の枯らし期間を経て、令和10年秋に開館するスケジュールとなります。</p> <p>開館後、維持管理・運営期間は10年といたします。また、開館前の令和9年度には、機運醸成のための取組みを行う予定でございます。以上です。</p> |

(質疑応答)

|             |   |
|-------------|---|
| 山口委員長       | 図1にある敷地図において、緑地となっている部分は、池などの水資源があるのでしょうか。  |
| 新博物館整備室主任主事 | 水資源は特に無く、緑地となっております。  |
| 山口委員長       | もし水資源がある場合、地盤等に影響があると思ったところでした。水は無く、緑地のみだということで理解しました。他に意見が無いようですので、これで議題(2)(ア)は終了します。これより非公開となります。 |

7 照会先

|  |                  |
|--|------------------|
| ・会議の運営について<br>総合政策局総合政策部政策調整課          | TEL 043-245-5056 |
| ・議題(1)について<br>総合政策局総合政策部政策調整課          | TEL 043-245-5056 |
| ・議題(2)について<br>教育委員会事務局生涯学習部文化財課新博物館整備室 | TEL 043-245-3011 |